



米澤栄二オリコンサルグローバル社長（中央モニター左）とタワット社長（同右）

オリコンサル
グローバル

タイに現法設立へ

国際対応と技術者確保

オリエンタルコンサルタンツグローバルは、タイの現地法人設立に向けて、11日付で株主との設立合意書と関係書類に署名した。会社名は「オリエンタルコンサルタンツタイランド」。資本金は約650万円（200万バーツ）で、社長にはタワット氏が就任、9月中に業務を開始する。

オリエンタルコンサルタンツグローバルは、以前からタイに営業拠点を常設していたが、同国の優秀な技術者の確保と国際的なインフラ需要に

対応するため、現地法人の設立を決めた。

同国は、地下鉄や高速道路などのインフラ整備が進んでいることから、高度な設計ができる技術者が多く、東南アジアの交通の要所としての利便性がある。新現地法人は、設計業務の拠点として、同国以外の国の業務も含め、安価で高品質なインフラ設計を世界に提供していく方針だ。